

区民のみなさまへ 大地震(災害)の時 助けてください!

<障害者からのお願い 2013>



すぎなみくしょうがいしゃだんたいれんごうかい
杉並区障害者団体連合会

〒166-0003

すぎなみくこうえんじみなみ
杉並区高円寺南2 24 18

TEL(03)5306 2627

FAX(03)5306 2628

< 区民のみなさまへ >

杉並区は災害時の避難について、火事や倒壊の危険がない場合は「在宅避難」ということに方針を転換しました。私たち障害者も、3日分の食料や水を用意するように心がけています。しかし火事や建物の倒壊などの場合は、自力で逃げることができません。ご協力をお願いいたします。

災害時の要援護者は、区内に2万人くらいいると思われます。ご近所で見かけた障害者や高齢者の安否確認をしていただけると助かります。

障害者は、その障害の種類、程度によって、救助・支援の方法が異なります。6頁から9頁を参考に障害者本人と話し合うか、黄色の当事者版パンフを見てください。個人カードを持っている人も居ます（知的障害者等）

* このパンフレットは、杉並区のホームページの「障害者専用サイト の一まらいふ杉並」でもご覧になれます。

< 体育館での生活が困難です >



車いすや視覚障害者はなかなか移動できません。
知的障害者は奇声を発したり、動きまわることがあり、他の人に迷惑をかけるのが心配です。

<災害時に私たち障害者が困ること>

防災無線や広報車の（音声）情報を受け取ることができません（聴覚障害者）



周囲の状況が把握できません（視覚障害者）

* 電柱や塀の倒壊、道路の亀裂などが分かりません

危険な状況が理解できません

（知的障害者）

自分の意志をうまく伝えることが困難です

パニックに陥ってしまうこともあります

避難場所まで移動できません



<ご理解と援助をお願いします>

< 正確な情報(今いる場所が安全かどうか)を教えてください。 >

視覚・聴覚障害者に、危険な場所と安全な場所を教えてください。

知的や精神の障害者には

話し方は、ゆっくり

問いかけは、短い、簡単な言葉で

答えは表情や身振りでも判断して下さい

< そこにいることが危険な場合は安全な場所まで連れて行ってください。そして、家族への連絡をお願いします。 >

避難所へ行かず、家で我慢する障害者もかなり居ると思います。在宅避難者のための水や食料の支援をお願いします。安否確認の時、必要な物資を聞いて、救援所に伝えてください。

(心身のバリアフリー化されていない所での生活が困難なのです。)

<避難誘導及び援助の仕方>

1、視覚障害者

どこに逃げれば安全か、教えてください。
家の周りの状況を教えてください。

停電、火事があるのか、道路の状況など
避難場所まで、誘導してください。

誘導の仕方

肩や腕を貸す形で、半歩前を歩いてください。
視覚障害者を押したり引っ張ったりしないでください。(不安になります)

誘導しているとき、周りの状況を伝えてください。

方向を示す時は、時計の針の位置で

(右は3時・左は9時・正面は12時)

下の場合は、「10時の方向で電柱が倒れています」



2、聴覚・言語障害者

<音や声では分かりません>

災害時のラジオ情報、避難警報、火災の接近等教えてください。

救助に来られた時、「誰かいませんか？」と言われても聞こえないので分かりません。懐中電灯で照らす等してください。私達は声が出ませんので、物を叩く、笛などで知らせます。

<見て分かる方法で伝えてください>

避難所で、飲食物や生活用品の配給などの放送があった時、下記の方法で伝えてください。

筆談・・・紙や手のひらに書いてください。

読話・・・あなたが話す口の形を見て読みとります。

手話・・・身振りで分かることもあります。

親戚などに安否を伝える「**災害用伝言ダイヤル171**」をお願いした時は引き受けてください。

全ての聴覚障害者が手話をするわけではありません。

3、肢体不自由者(車いすなど)

家が住めないような状態や火事にならない限り、在宅で過ごす人が多いと思われます。安否の確認と水や食料などの必要物資の配達をお願いします。

エレベーターが止まると、他の階に階段をつかって行くことができません。援助者が複数必要です。

(右図は、3人の場合)



車いすの押し方や、階段などの避難の方法は、障害者(及び家族)と相談してください。

4、精神・知的障害者

<パニックに陥っているときは>

いきなり身体にふれることはやめてください。
逆にびっくりして固まってしまいます。

「大丈夫」「安心してね」とか、「助けに来たよ」と声をかけ、安心・落ち着かせてください。

<そこにいることが危険な場合>

避難場所など、安全な場所までつれていってください。

<話し方について>

わかりやすく簡単なことばを使ってください。
話は短く切って、一問一答方式でお願いします。
言葉が出てこない障害者が居ます。表情身振りなどをみて、ひとつひとつ確認しながら、話してください。

できるだけ早く、家族や作業所などに連絡をとってください。家族や職員の声を聞くと落ち着くと思います。連絡場所は、当事者パンフやカードに書いてあります。

黄色の当事者パンフを見て

(右ページ)

○ 家族と相談してある場所に連れて行ってください。

○ 必要なものをもったかどうか確認してください！

(持ち出しリストが載っています)

薬、補装具、補聴器の電池、スプーンなど

○ 連絡先(家族など)に電話してください。

○ 黄色の当事者パンフは、玄関ドアの内側や冷蔵庫の横に貼ってあるか、冷蔵庫の救急キットの中にあります。

< 当事者用災害対策パンフ >

< 表紙 >

おお じ しん さい がい

大地震(災害) のときのためのパンフ



〒166-0003
杉並区障害者団体連合会
杉並区高円寺南 2-24-18
TEL(03)5306-2627
FAX(03)5306-2628

氏名	TEL
	FAX
住所	
血液型	アレルギー
くすり	

< 裏表紙 >

避難場所 (家族で相談して決めておきましょう。)

直後の避難場所 (近くの公園とか公共の建物など)

家族と離ればなれになった時の集合場所

連絡先

< 家族 >

氏名	会社・学校	TEL

< 親 >

氏名	TEL
氏名	TEL

< 友人・知人・管理団体 >

氏名	TEL
氏名	TEL

連絡先

< 個人カード >

自宅	住所	杉並区	見本
	TEL		
緊急連絡先	母	03 (XXXX) XXXX	
	父	03 (XXXX) XXXX	
		090 (XXXX) XXXX	
所属		☆☆☆作業所	
	TEL	03 (XXXX) XXXX	

氏名	杉並花子	年齢	20 歳
接し方	人見知りします。ことばは不明瞭です。ゆっくり、やさしく、わかりやすく話してくればわかります。		
障害名	ダウン症	血液型	A 型
杉並区障害者団体連合会 〒166-0003 杉並区高円寺南 2-24-18 TEL03(5306)2627・FAX03(5306)2628			

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

利用方法

伝言の録音方法

171 にダイヤル

「伝言センターです」の声

録音の場合 1

被災者の電話番号を押します

××× ××× ××××

ピッとなったら 30 秒
以内で話して電話を
切ります。

伝言の再生方法

171 にダイヤル

「伝言センターです」の声

再生の場合 2

被災者の電話番号を押します

××× ××× ××××

再生が始まります。

毎月 1 日は、伝言ダイヤルの体験ができます。
一度やってみましょう。